

地域のかお シリーズ 118

「地域があって学校がある」

那珂小学校長 蛭原 博康

私の長男が小学校低学年、次男が幼稚園の年中の頃、親子3人でサイクリングをしたことがあります。那珂郵便局近くの公園でひと休みし、那珂小学校前の商店で駄菓子を買ったときに、お店の方から親切に声をかけてもらったことを覚えています。地域の方の優しさに触れたひとときでした。そういった地域の方々の思いやりや優しさは、今も引き継がれて那珂地区に残っていると思っています。そして、自分たちの地域を知り、地域に貢献しようと子どもながらにできることを考え実践していく子どもたちを育む意味でも、「地域があって学校がある」のではないかと考えています。

さて、那珂小学校は本年度で創立152年目を迎え、学校のシンボルとなっている「けやきの木」は、地域とともに様々な歴史を刻んできました。けやきは落葉樹のため、季節によっては落ち葉がたくさん舞い落ち、そうじも楽ではありません。それでも、那珂小を卒業した先輩方、地域の皆様は、このけやきを見るたびに何となく懐かしい、心温まる気分になるのでしょうか。地域の有志で立ち上げた「けやき復活プロジェクト」によってみごとに復活したけやきの木。いつまでも皆様の心のシンボルとなるよう、守り続けていきたいと思います。地域の皆様、保護者の皆様、いつも学校にご支援・ご協力いただき、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



地域・保護者の皆様にお世話になっております



↑読み聞かせグループ「ぼけっとの会」による週2回の朝の読み聞かせ



↑学校医（歯科）の先生によるブラッシング指導



↑6年生「ものづくり体験」（洋裁・木工・板金）



↑家庭科の学習におけるミシン操作補助ボランティア



↑那珂地区地域婦人連絡協議会による那珂音頭指導（3・4年生）



↑那珂小 PTA 伝統行事 正門への運動会プレート設置

ほかにも「那珂小学校区地域づくり協議会」にコーディネートしていただき、学校に保護者を含めたボランティアの方々を派遣していただいている活動もあります。

那珂小学校の朝のあいさつ



那珂小学校では、登校班で登校しても個人で登校しても、必ず校舎玄関前まで来て「おはようございます。」とあいさつをする伝統があります。「今日も一日がんばるよ!」という決意表明の意味もあるのでは、と思っています。今後もこの伝統が引き継がれていくことを願っています。